

経営学修士（専門職） カリキュラム・ポリシー（教育課程の編成・実施方針）

本学は、日本とアジア社会の「創造と変革」を担う志高き「リーダー」（創造と変革の志士）を育成することをミッションとしています。そのためカリキュラムは、激変するビジネス環境下で戦略を立案実行し、成果を出すリーダーに必要な能力を鍛えることを企図しています。

<構成>

各科目を基本・応用・展開の3つのレベルに分け、基本及び応用科目で基本的な知識や能力を修得した上で、展開科目においてそれら全ての学びを活用して難度の高い経営課題や最新の課題に対して取り組む科目編成（教育課程）としています。

基本及び応用科目では、6つの領域に亘って科目を配置しています。「人事組織」「マーケティング・戦略」「会計・財務」の3領域は、世界のMBAプログラムの共通領域であり、経営資源の3要素であるヒト・モノ・カネに関する能力を体系的に修得します。それに加え「思考」「志」「テクノベート」の3つの領域を設けています。リーダーにとって、特に困難な局面の意思決定においては、自分の価値観や信念が重要となるためです。そして、テクノロジーが急速に発展し、ビジネスモデルや組織のあり方が大きく変化する時代において、テクノロジーの知見が必要となるからです。

展開科目では、経営において最も難しい、ゼロから何かを生み出していく「創造」と、既存のものをさらに進化・成長させていく「変革」にフォーカスした科目群を配置しています。加えて、グローバルで活躍できるリーダー育成のために、「Japan/Asia/Global」という領域を設けています。このように、日本やアジア社会で活躍するリーダーの輩出という目的に資するカリキュラム構成としています。

<実施方法>

知識の修得に留まらず、実践して成果をあげる能力を鍛えるため、ディスカッション中心の授業を行います。主たる学習方法にケースメソッドを採用し、学生が自らの頭で考え、議論を繰り返すことで、深く考え抜く力と実践力を鍛えます。

また、社会人の学び方の様々なニーズに応えるべく、1年制（フルタイム）と2年制（パートタイム）の教育課程を提供しています。